

患者さんへ

「新規経口抗凝固薬の使用実態調査」について

私たちは現在、調査研究「新規経口抗凝固薬の使用実態調査」を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。本研究の概要は以下のとおりです。

① 調査対象

当院において2011年3月～2021年2月の期間に、ダビガトランエテキシラート（商品名：プラザキサ）、リバーロキサバン（商品名：イグザレルト）、アピキサバン（商品名：エリキュース）、エドキサバン（商品名：リクシアナ）などの新規経口抗凝固薬を処方されている患者さん

② 研究の意義と目的

心房細動の患者さんでは、経口抗凝固薬の服用が必要な場合があります。近年、新規経口抗凝固薬（ダビガトランエテキシラートやリバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバンなど）の有効性・安全性が明らかになり使用されるようになりました。しかし、実際にどのような患者背景の患者さんに多く投与されているのか明らかではないため、新規経口抗凝固薬を服用された患者さんの診療情報を基に調査研究を行い、使用実態を明らかにすることで、より安全な医療の提供のために役立てたいと考えています。

③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2026年3月31日まで

④ 研究の方法・取り扱うデータ

対象となった患者さんの年齢、性別、身長、体重、血圧、病名、既往歴、処方薬剤名、処方薬剤の用法用量、臨床検査値、心電図検査結果、心エコー検査結果、内視鏡検査結果、放射線検査結果、プログレスノート、紹介状、退院サマリ、薬剤管理指導記録に記載されている内容を使用して、調査研究を行います。

⑤ 個人情報の保護

患者さんのデータの取り扱いは、第三者が直接患者さんを識別できないように、データ登録時に定めた登録番号を用いて行います。また、データは外部からのアクセス制限がかかったコンピューターのハードディスク内にパスワードをかけて保存し、厳重な管理を行います。

⑥ 情報の管理について責任を有する者

筑波大学医学医療系・筑波大学附属病院薬剤部 本間 真人

⑦ 研究参加の取り止めについて

ご自身が調査の対象であるかどうかを確認されたい場合は、下記の“問い合わせ窓口”までお問い合わせください。また、ご協力頂けない場合には、結果の公開前であれば対応致しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

⑧ 研究機関名・問い合わせ窓口

筑波大学医学医療系・筑波大学附属病院薬剤部 本間 真人
連絡先：029-896-7165（9:00~17:00）